



THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO, SUNRISE

**T O S Y ' S**

東京サンライズ・ワイズメンズクラブ

設立 1989年2月18日  
チャーター認証日 1989年5月 2日  
チャーターナイト 1989年5月28日

TOKYO YMCA YAMATE CENTRE  
2-18-12, NISIWASEDA, SHINJUKU-KU, TOKYO  
PHONE 03-3202-0321

第一例会：第2木曜日 午後5：00  
(但し、12月・4月は山中湖センターで土日)  
第二例会：翌々週火曜日 午後5：00

## 2026年1月号ブリテン 第419号

会長 小山久恵  
副会長 大谷博愛  
書記 御園生好子  
会計 大森裕子  
直前会長 御園生好子  
担当主事 鳩山哲郎

### 2025-2026 年度主題(Thema)

Our Motto 国際標語

国際会長 エドワード・オン

アジア太平洋会長 田上正

東日本区理事 山下真

あずさ部部長 山口直樹

サンライズ会長 小山久恵

IBC：台北ユニオン DBC：東広島・京都プリンス

「信念、愛、行動」

「共に、より強く」 (シンガポール)

「信念と愛を持って行動しよう」 (熊本)

「ワイズのらしさ再発見」 (十勝)

「垣根を低くし、活発な活動を」 (武蔵野多摩)

「例会の出席を第一としよう」

### 1月第一例会のお知らせ

1月は10日の在京新年会を第一例会とします。

#### 1月以降の予告

1月10日(土) 在京新年会

1月20日(火) 第二例会

2月12日(木) 山手学舎との鍋パーティー  
(第一例会とする)

1月のハッピーバースデー

該当者なし

12月例会出席者

12名

(出席率 92%)

班に分けて屋内のボッチャと屋外のアーチェリーをそれぞれ交代で楽しんでもらいました。



スタッフの進行が上手なので、ゲームをしているのは子供たちなのに見ている私たちも楽しむことができました。ゲームをやって子供たち同士も親しくなり、子どもたち、スタッフ、サンライズみんなでケーキを美味しくいただきました。続いて子どもたちが楽しみにしていたビンゴゲームが行われ、彼らの純真に興奮する姿は微笑ましいものでした。

最後はサンライズも加わってワイワイガヤガヤとゲームを楽しみ、16時に解散しました。山中湖スタッフの行き届いた準備と進行のおかげでとても良いクリスマス会になりました。感謝です。

### 山中湖地域子どもクリスマス会・富士五湖クラブとの 合同例会報告

大谷博愛

今年もサンライズの12月第一例会は、12月6、7日に山中湖で子どもクリスマス会と富士五湖クラブとの合同例会の二本立てで行われました。

サンライズが行う山中湖地域子どもクリスマス会は今年で30回目となりました。今年は地域の子どもたちが14人集まってきて、13時30分から山中湖スタッフ荒木さんの名司会でプログラムが始まりました。最初は全員で映像の『幸せの王子』を鑑賞し、その後子どもたちを二



富士五湖クラブとの合同例会は17時過ぎから小山会長の開会点鐘で始まりました。まず、小山サンライズ会長と尾崎富士五湖クラブ会長による挨拶とそれぞれのクラブの現況報告があり、続いて今回クリスマス会から参加してくれた山口あずさ部長の挨拶がありました。さらに、望月さんによる富士五湖クラブ主催の新年会およびカラオケ大会のアピール、長津さんによる3月の京都プリンスとの合同イベントのアピールがあり、例会の第一部は終わりました。第二部は実質メインの懇親会で鍋料理をつつきながら、交流を大いに楽しみました。泉さん以外のサンライズメンバーはそのまま山中湖センターに宿泊し、翌朝それぞれのスケジュールに応じて帰路につきました。

参加者(敬称略)は泉、大谷、大森、小山、菰渕、立田、長津、御園生(サンライズ)、尾崎、小池、武藤、望月勉(富士五湖クラブ)、山口部長、(山中湖スタッフ)荒木、下村、渡邊でした。

## 「東京サンライズのお散歩例会に参加して」

東京たんぽぽ 小原史奈子

「次回のサンライズお散歩例会は、史奈ちゃん家の近所を歩くから来ない？」と誘われ、どこに行くのか興味津々で参加を決めました。東京メトロの護国寺駅に集合し、先ずはおいしいお蕎麦で腹ごしらえをしてお散歩スタートです。護国寺の門前に着いた。と思ったら次の場所へ移動。これはオリエンテーリングのようにチェックポイントを巡る方式？次は雑司ヶ谷霊園で文豪や著名人のお墓探し。いえ、お参り。



そして、雑司ヶ谷旧宣教師館へ。ここは素敵な洋館で、以前から訪れたいと思っていた所。中へ入る？入りたい！！希望が通って、館内を見学することに。都内でも数少ない明治期の宣教師館として貴重な建物。さらに季節柄、リビングにはクリスマスツリーの飾りつけがあり、お庭もきれいに手入れされていて、春花の季節に再訪しようと思いました。続いて雑司ヶ谷鬼子母神境内に江戸時代からある駄菓子屋「上川口屋」へ。今日も店主のおばあちゃんがやさしく迎え入れてくれました。散歩は続きますが、女性二人は離脱して抹茶ラテとお菓子で一息。

おしゃべりを楽しみ、夜の納会まで時間を繋ぎました。  
楽しいお散歩に加えて頂き有難うございました。

## 東京サンライズ納会報告

大森 裕子

お散歩例会に続いて、要町のインド料理店ガーラにて納会が行われました。開始まで少し時間があつたので、居合わせた女性陣だけで近くの立教大学のクリスマスツリーを見に行ってきました。

開始時刻の5時には全員が集合し、小山会長の挨拶の後、乾杯の音頭で納会が始まりました。クリスマスらしい星型の可愛い器に盛られた前菜、チキンのモモ肉のロースト、カレー、デザート等の美味しいコース料理を頂き、飲み放題でそれぞれに好きな飲み物を堪能しました。



幹事を務めてくれた長津さん、ありがとうございました。  
出席者は、小山会長、長津、大谷、江原、菰渚、正村(参遊会)、立田、御園生、大森、柴田、長津絹子(メネット)、今村、松本、鳩山主事でした(順不同)。

## 新年の抱負一言

柴田弘子

「今年の目的を一つずつ実行すること。  
そのためにフレイルにならないようにリハビリと運動をすることが課題です」

長津徹

「今年は体にムチうって伊東クラブとの DBC、トライアングルを目指します。3月20日東山荘での合同例会に出来るだけ多く参加できますように」

小山久恵

「真剣にダイエット！スイーツを絶って、果物も食べ過ぎにならない程度に控える」

大谷博愛

「大きな事はできなくても、平和を強く意識して身の丈に合った行動をして行きたいと思います。私の世代は平和の恩恵に浴して人生を送ることができました。人類の歴史を振り返り、世界に目を広げると、これは偶然に近い恵みです。この恵みを少しでも広げ後世に伝えることは私たち世代の責任です」

今村由紀

「2026年は、今まで抱えていた案件（群馬県の実家の処理、お墓のことなどの終活）をちゃんと片付けたいと思います。そのあとはちょっと行きたかったところに旅行したいかな」

江原修一

「サンライズに江原修一が居て良かったと、思われ続ける人で在りたい」

御園生好子

「終活をしてすっきりと」

立田佳明

「温暖化がなく、世界が平和である事お願いします」

松本ふさ

「元気で仕事に頑張ります」

大森裕子

「今日が一番若い日だと思って、一日一日を大切に過ごしたいです。会いたい人に会いに行き、やりたいことをやりたいです」

蔣淵光彦

「去年は七転びで、皆様にご迷惑ばかりおかけして、失礼いたしました。躓きゼロを誓います!!」

嶋山徹郎

「子どもとたくさん遊ぶ、ですかね。まだ子どもが小さいもので、今しかない時間を大切にしたいと思います」

### 山中湖センターの様子

山中湖センター 荒木 暁

マイナス気温が続く朝の山中湖センターでは、グラウンドを歩くと、霜をまとった落ち葉や草、霜柱がサクサクと心地よい音を響かせます。キャンプ場内のどこかに潜んでいる鹿たちも、足跡を残しながらのんびりと過ごしているようです。

12月6日(土)に行われた山中地域クリスマス会には、子ども17名、大人6名、サンライズより8名、山中湖センタースタッフ3名の、合計34名が参加し、にぎやかなひとときを過ごしました。今年は幼児の参加もあり、保護者同伴で楽しんでいただく姿が見られ、子どもだけでなく大人も一緒に笑顔で過ごす様子が印象的でした。地域のクリスマス会ならではの、世代を超えて交流できる時間は、とても有意義なものとなりました。

クリスマス会では活動時間も設け、屋外ではアーチェリー、室内ではボッチャに挑戦してもらいました。どちらも目的を狙う競技で、参加者の真剣な表情や、達成感に満ちた様子が伺えました。また、ビンゴ大会や室内レクリエーションでは、地域の参加者とサンライズの皆さんが交流を深め、終始笑顔と和やかな雰囲気に包まれていたことがとても印象的でした。

今回のクリスマス会を通して、山中湖センターが、今後多くの方々とつながることのできる場であり続けてほしいと、心から感じました。

なお、冬季はクローズしている山中湖センターですが、現在は掃除スタッフを中心に大掃除を進めています。春になり、利用者の皆さんを気持ちよくお迎えできるよう、準備を整えてまいります。

## YMCA ニュース

山手センター 嶋山徹郎

★ソシアスフォーラム 2025『「赤ちゃんのいのちを守るプロジェクト」が問うこと』★

「ソシアス」とはラテン語で「仲間」のこと。東京YMCAでは年に一度、社会課題やYMCAの働きについて学び、交流する会として、「ソシアスフォーラム」を開催しています。

今年は2026年1月31日に開催、基調講演は『「赤ちゃんのいのちを守るプロジェクト」が問うこと』。講演者には、社会福祉法人賛育会法人事務局ミッションサポート部部长、赤ちゃんのいのちを守るプロジェクト事務局長の大江浩さんを迎えます。

社会福祉法人賛育会が新たな使命として、「赤ちゃんのいのちを守るプロジェクト」(困窮する母子の保護や救済事業や妊娠SOS相談事業)を開始しています。その活動から私たちに問われている、いのちと共生という社会的課題について、皆さんとともに考えたいと思います。

<YMCA ニュース>

<https://tokyo.ymca.or.jp/news/2025/12/20251201-3.html>

The poster is for the Tokyo YMCA Vision 150 event, titled "Project to Protect the Life of the Baby" (赤ちゃんのいのちを守るプロジェクト). It is scheduled for January 31st (Saturday) from 14:00 to 16:30 at the Tokyo YMCA Hand Center. The event features a keynote speech by Hiroshi Oe (大江浩氏) from the Tokyo YMCA Vision 150. The poster also lists other activities: a quiz (第3部: 分かち合い), a lecture (第2部: 基調講演), and a discussion (第4部: レクリエーション・アビール). It includes a QR code for registration and a map of the venue.

★スキーキャンプ参加者募集中!★

東京YMCA 野外教育センターでは、12月～3月にかけてスキーキャンプを実施しています。初心者から経験者

まで、年中さんから高校3年生まで参加可能。50年以上にわたりこどものスキー指導を研究した YMCA だけのスキー指導の理論と実践をご体験いただけます。キャンプを通してスキーが好きになる、キャンプが好きになる。東京 YMCA 自慢のスキーキャンプを、ぜひお知らせ等にご紹介下さい。

<YMCA ホームページ>

[https://tokyo.ymca.or.jp/camp/program\\_ski.html](https://tokyo.ymca.or.jp/camp/program_ski.html)



★2026 サマーキャンプスタッフ募集（ニューヨーク州）  
6/20～8/21★

フロストバレーYMCAは、ニューヨークから車で3時間ほどのキャッツキル自然保護区域内に位置し、山手線一周以上の面積がある北米屈指の広大なキャンプ場です。東京YMCAは長年にわたってこのフロストバレーYMCAにスタッフを派遣し、在米日本人家族のためのキャンプなど、日米の相互理解を目指して活動を続けています。キャンプには毎年、転勤や国際結婚などによってアメリカで暮らす子どもたち約300人が参加。日本語でのキャンプを満喫します。

「久しぶりに日本語で話せてうれしかった」「同じ境遇の仲間に出会えた」など、文化と文化の狭間で育つ子どもたちにとって貴重な体験の場となっています。

2026年度、サマーキャンプスタッフの募集・選考のご案内です。

スタッフの役割など要項詳細は以下のとおりです。

[2026 サマーキャンプスタッフ募集要項](#)



### 編集後記

ブリテン1月号をお届けします。新しい年の幕開け、皆さまはどのようにお過ごしでしたか?国内、国外ともに不安な空気が漂っていますが、干支の午にあやかり、そのようなものを蹴飛ばして、今年が明るい年となりますようお祈りしています。本年もどうぞよろしくお願い致します。

なお、今回のお散歩例会の報告は東京たんぽぽの小原史奈子さんに書いていただきました。小原さん、ありがとうございました。

